

第 7 回新泉・和泉地区小中一貫教育一貫校設置協議会
(平成 23 年 6 月 6 日松溪中・天沼小視察) 意見について

- ・ 松溪中では、使用できなくなっている部屋があった。一貫校では使えないスペースを極力少なくしてほしい。
- ・ 最近、小学校ではクラス数が増加傾向にあるが、ひとつの学年は同じフロアで授業が受けられるよう教室の配置をお願いしたい。
- ・ 学校を建ててから教室がないという事態はどうかと思う。教室数は今後学級が増えることを見越して設置するべきである。
- ・ 天沼小はデザインが斬新で良い。一貫校も、子どもたちが学校に「来たくなる」ようなデザインにすべき。
- ・ 天沼小は水廻り（水道蛇口）が多く、機能的な感じがする。学校教育のカリキュラムにもあるのだろうが、うがい・手洗いが大人数でいつでもできるのが良い。
- ・ 一貫校では、デザインと使い勝手の融合を図るべき。
- ・ 天沼小の中は、明るくてやわらかい感じの配色が良い。室内の色合いも大切。
- ・ 天沼小の理科室の机の配置が特徴的で使い勝手がよさそうだ。一貫校でも参考にしてほしい。
- ・ 天沼小校内に設置されていたテラスやベンチは、子どもたちが集う場所として良い。
- ・ 施設の面積や敷地に制約はあるが、天沼小は校内の広さが十分に確保され、工夫のあとが見える。狭いながらも限りあるスペースを有効に使っている。
- ・ 天沼小の教室配置は防音性の観点からも良い。
- ・ 一貫校にも、エコスクールの機能（クールヒートトレンチ、校内の風の流れ等）を十分考慮して取り入れるべき。